

# 林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進

## 地球温暖化防止に向けた森林整備と多面的機能発揮のための対策

- 間伐等の森林施業や路網整備等を推進  
【森林整備事業 1,414億円】
- 荒廃山地の復旧・予防対策、海岸防災林の保全等を推進  
【治山事業 717億円】
- 地域住民等による森林の保全管理等の取組を支援  
【森林・山村多面的機能発揮対策 25億円】
- シカの広域的な捕獲・防除等を推進  
【シカによる森林被害緊急対策事業 5億円】



## 施業集約化の加速化

- 森林所有者・境界の明確化等の取組を支援
- 航空レーザーの活用等による森林情報収集モデルの構築  
【森林整備地域活動支援交付金等 3.5億円】  
【森林情報高度利活用技術開発事業 1.4億円】

## 林業を支える担い手の確保・育成

- 「緑の雇用」事業により、新規就業者の確保・育成等を支援  
【森林・林業人材育成対策 62億円】



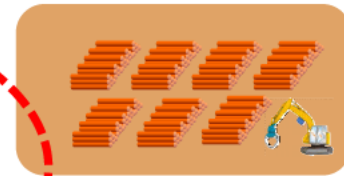
## 花粉発生源対策の推進

- 少花粉苗木等の生産体制強化、スギの植替えを促進  
【花粉発生源対策 6億円】



スギの伐倒・除去による植替え

## 川上から川下までの連携による効率的な木材の生産・供給システムの構築



## 新たな木材需要の創出

- CLT・耐火部材等の開発・普及等を支援
- 木質バイオマスの利用促進
- 違法伐採対策の推進

【新たな木材需要創出総合プロジェクト 16億円】



耐火部材を用いた木造商業施設



CLT建築物

## 川上から川下までの取組の総合的支援

- 間伐・路網整備やCLT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設の整備など、地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援  
【次世代林業基盤づくり交付金 200億円】



路網整備



コンテナ苗生産施設



CLT加工施設

○森林吸収源対策の財源確保については、本年6月の骨太方針(\*)に基づき、今年末に向け、引き続き検討・調整

※「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源の確保について、財政面での対応、森林整備等に要する費用を国民全体で負担する措置等、新たな仕組みの導入に関し、(中略) COP21に向けた2020年以降の温室効果ガス削減目標の設定までに具体的な姿について結論を得る」